滿洲日報

○報價

每月收取八角代賣所及遞報人并無分毫加增

○告白刊例

一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議

從減　每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料告
一半ヶ月以上　銀十五仙乃至十
一ヶ月以內
一長期連揭減價面議

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　(電話二九番)

油豆行情（中曆二月初七日）

豆餅市元寶六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
大車共上車三十餘輛
小車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一並…　一洗石鹼　一同　一袋真綿　一改良半紙

二同…　同十九圓五十錢
二打入　同三圓三十錢
二十本入　同一圓七十錢
六枚入百袋　同一百三十圓
關東公司

一鑵二圓

一洋…
一綿チール仙人印　十四反　同一百十三圓…
一白味噌　正五貫入一箱　同二圓八十錢
一同赤　正十八貫入一樽　同八圓五十錢
一堅パン　七貫入一函　同九圓
矢野洋行

一女手袋　打　同八圓より…圓迄
一メリヤス手袋　打　同三圓より六圓迄
一小供手袋　打同一圓五十錢より五圓迄
一女シャツ　打同六圓八十錢より十圓位迄
一小供シャツ上下　打　同九圓位より廿圓位迄

告示

來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す

月　日　營口軍政署

廣告

工事材料購買入札

第一號　一杉丸太　長七間ヨリ三間半迄取合　貳千百本

第二號　一條石　延長　四千五百丈

第三號　一砂　一千立坪

右每号入札ニ付ス入札希望者ハ當署土木係ニ就キ契約書案熟覽ノ上來ル三月十五日午前十一時入札保證金各自見積代金拾分ノ一以上相添ヘ入札書差出スヘシ

但即時開札ス

此契約ハ營口軍政官輿倉喜平擔任ス

明治三十九年二月二十六日

營口軍政署

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓

▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫勳　里昻　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室
　　　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷著

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候

（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋𫄨鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一八二

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方外馳名一核章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十八番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便團貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週遍知之

正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

元茂盛

油坊買賣元荳荳油荳餅雜色粮石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寶燒船交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（提利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）淸香撲鼻佳美適口而價值極廉諸君欲講可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

賣捌並廣告取次所

大連市播磨町三百三十八號　日華運輸公司

大連市盤陽城四樂九番地　岡野新聞舖

奉天大南門內景祐宮胡同　全泰號

遼陽遼俱町十　谷口今朝太郎

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部

河岸通（電話五十二番）

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一海關手續　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱

一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大淸通運公司　營口支店

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價値格外從廉克己、凡　中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町

本店　下關　秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名幽遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需國本主人啓

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運遠而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨種多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可飭人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知

新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社　牛莊支店

（電話六十六番）

電氣諸機械

大販賣

本店　天津日本租界電話二〇〇
支店　營口永世街甲二一五號

三友洋行電機部（電一五四番）

主任　朱牟田寅吉

倫敦電報

●林大使の信任狀捧呈 林男は昨日宮廷用の馬車にて隨員と共にバツキンガム宮殿に伺候し全權大使の信任狀を捧呈せしが最も壯嚴なる儀式を以て待遇せられたり

●佛國代表者の宣言 アルジエシラス會議に於て佛國代表者ルボイル氏は獨國代表者ラドウイツ氏に書東を贈り佛國の申込は經濟上若くは商業上に於て毫も列國平等の精神を侵害せず故に該申込は同會議の議事に附すべきものなりとの旨を宣言せり

●上奏案可決 英國衆議院は異議なく上奏案を可決せり

●ミルナー卿の警告 英國貴族院に於てミルナー卿は政府に對して警告して曰くトランスバール特にオレンジ河殖民地に於てはボーア民族の敵愾心猶甚だしきものあるを以て直に責任内閣の制度を許可するは頗る危險なりと

(以上二月廿七日發電)

雜報

●三將軍の光榮 山縣、大山兩元帥及東郷大將は過日コンノート親王殿下の御召により霞ケ關離宮に參上したるに殿下には直に御坐所に於て御引見あり左の御言葉を賜はりたり

余は本國皇帝陛下の大命により特に本日卿に我名譽ある最高の勳位を贈ることゝなりたり余は實に武功ある卿に此名譽ある勳章を贈るを喜ぶなり此勳章は武功赫々たる者にあらされは決して贈與することなきものなり

殿下は更に三將に對し左の御言葉ありたり

此勳章はその數廿四箇に限られ此以上には贈與することは能はす特に此勳章は一箇たりも今日まで外國人に贈與したることなきものなり今日卿に贈るは實に外國人叙勳の嚆矢なり

元帥、大將等は一々英國皇帝陛下の優渥なる思召を謝し殿下に向つて深厚なる謝禮を言上し畢て殿下の侍從武官ダビツドソン氏は直にメリツト勳章を三將軍の胸部に手づから佩用せしめられたりと

●貴賓殿下の風采 コンノート親王殿下には御年歯僅に弱冠を超え給ふのみなるに其進退擧止秀朗閑雅にして自然に高貴の態度を備へ給へり去る二十日の正殿ガーター勳章捧呈式は英國の式典中にて無上の盛儀の一とせらるゝ所なるが殿下には親しく其盛儀の中心となりて揖讓上下禮節亂れず能く式法を終始せられし態度の妙なりしには陪席の内外臣僚一人として敬愛の念を深くせさる者なかりし由なり且つ殿下には頗る交際術に長せられ我か接伴委員に對しては勿論伺候の我が文武官に對し一々引見ありて懇懃に種々の物語を爲し給ふ其間少しも城府を設けられず恰も親友に對するが如き御風情なりとて我が宮廷内に於ける御評判極めて宜しとぞ

●米國の南清警戒 南清地方に於ける清人の排外熱は日を追ふて增進する模樣なるが米國政府は過般來萬一を警戒する爲め香港に海防艦モナドノツク、廣東に驅逐艦バリー、ヘーンブリツヂ砲艦カーラオを碇泊せしめつゝありたるが此程更に戰艦オレゴンを同方面に派遣する事とし同艦は既に馬尼刺より香港に到着したりといふ

●萬國平和會議 昨秋露國皇帝に依り提唱せられたる第二回萬國平和會議に就き我が政府に於ても主義に於ては賛同の意を表したる事は既記の如くなるが列國も略同一意向にて已に悉く賛同の意を表したるが昨年來の騒擾にて露國皇帝も未だ十分該會議に斡旋する事を得ざる事情ありて其提出及び協定事項等に就ては未だ何等の交渉なきも歐米列國中には其開會を非常に急ぎ居るものある由なれば今年中には多分開會の運びに至るべしと

●佛東洋艦隊縮少 露國艦隊の全滅と共に英國は既に其東洋艦隊中より戰鬪艦を引揚げたるが佛國政府も亦東洋艦隊の一部を本國に引揚ぐることゝし其先發として巡洋艦デカートは一月十五日西貢を出發し又砲艦クードレーも舊臘安南沿岸を拔錨し數日前ポートセツトに到着したりといふ

●滿韓鐵道經營費 臨時軍事費を以て經營せる滿韓諸鐵道に對し既往及び將來の經費を區分すれば左の如し

▲京義鉄道費
一金二千百八十四萬千二百四十三圓 既に支出したる概算高
此内には馬山三浪津間の鐵道速成費を包含しあるも本鐵道と共通せるもの多き爲め戰後諸統計の完成する後にあらされば之れを區分すること能はず
一金二千四百萬圓 改修の爲め爾後支出すへき概算金高
▲馬山三浪津間鉄道完成費
一金百十九萬一千三百五十六圓
▲東清鐵道費
一金二千九百十七萬四千九百十餘圓 既に支出したる概算額
一金三百三十八萬二百三十九圓 將來(卅八年度中)支出すへき概算額
▲安東縣奉天間鐵道費
一金六百二十萬九千三百六十五圓 既に支出したる概管金額

●清露の交渉(下) (二月廿六日在北京特別通信員報)

然るに惡方たるポコチロフ氏は飽迄ヅウ〲しく當時の密約を以て清國政府の默認せる者なりと主張し是れ露國が日露戰爭以前よりの既得權にして平和條約と毫も背馳する者に非すと論し唯に清國の要求を承諾せさるのみならす清國は宜しく正式に之を承認すへしと迫り居る模樣にて唐紹儀氏は却て攻撃的態度より一轉して受身的地位に立ちし如く確聞致し候併し彼も亦去る者未だポコチロフの前に屈服することを肯んせす勇氣を奮ふて其要求を主張し兩々相下らず會議益行惱みの姿となり折柄ポコチロフ氏は清國を恫嚇せんとの狡計にや更に鐵道問題を提議して益々行惱みを重ねしめたるらしく兼ねてより少しく受身の姿なりし唐紹儀氏は茲に於て大に閉口し瞿軍機那中堂等と打合せの結果彼が後見役たる袁總督の意見を叩かんが爲め斷然會議を中止し過日下津致せし次第に候蓋し初めは攻擊を取りて勇ましく突進せし唐侍郎が却つて海に千年河に千年とも云ふへき外交界の曲者ポコチロフ氏の爲めにサンザン惱まされ漸く足元シドロに突きたてられ漸く汗だら〲の受身的と相成れるは誠に心細き次第に候袁總督と密議を凝らす事三日十分得心する所ありて二三日前歸京せる彼は新なる勇氣と有力なる意氣とを吹き込まれ再び前日の元氣を回復し十分なる健鬪を續くるならんと私に賴母しく存じ居り候夫れ露國の清露協商に對する態度は斯の如く横暴傲慢にしてポートマウス條約を無視せる者なるを以て當地外交社界の公論は頗る沸騰し大に露國の不信不義を憤慨致し清國に同情を表し 唐紹儀氏が飽迄其正當なる意見を主張し露國の鬼面に威嚇されざらんことを希望致し居候唐紹儀氏たる者豈に勉めさるへけんや

要之今日迄の清露協商は双方より難題の持掛け合ひにて未た一つとし決着を見し者非らさるか如く双方孰れも根氣強く爭ひ居るも 清國側は幾分か力負けの態度を現せるらしく稍憂ふべき現象に候併し天津より歸京せる唐紹儀氏には亦幾分かの新元氣を齎らせしなるへく是からの會議は尤も注目に値すへく候先は取敢ず清露談判の道聽塗說をザツト御報道申上候勿論今後と雖も張目飛耳清露談判の報道を怠らさるへく候(完)

●奉天近狀(下)

▲旅館數 純粹の商人宿は僅々四軒にて其他は前述の如く概ね料理屋の兼業也、四軒の商人宿とは茂林館、瑞豐館、吉林館、藤居館にして坐敷に出るは凡て男子の役也其の六尺大の軀幹を玉の如くに運轉し甲斐〲敷くお客の氣嫌を取りつゝあるは感心也し

▲宿泊料 以上四軒の旅館中に於て坐敷、器具其他の比較的調ひ居るは茂林館にして待遇の叮寧なる且つ宿泊料の低廉なるは瑞豐館也其外の二軒は別に特長無し今ま左に四軒の宿泊料を詳述すべし

茂林館六圓(三飯一日分)瑞豐館一圓五十錢(仝上)吉林館二圓五十錢(仝上)藤居館三圓(仝上)

更に其の宿客を比較すれば又た左の如し

茂林館、五六人(一日)瑞豐館二十四五人(仝上)吉林館、七八人(仝上)藤居館四五人(仝上)

因に茂林館の宿客は官邊の者多しと云ふ尚は今日の奉天には軍人、軍屬の宿客は各旅館共に殆んど絶無なりと

▲凱旋隊 昨今奉天より凱旋しつゝあるは第七師團也、尤も七師團の全部が始終奉天に在るには非す即ち奉天の宿舍に於て凱旋を待つは約一個大隊也、一個大隊の凱旋を終了するは大抵二日間とす故に先發の一個大隊か奉天に到着して二日を經過せば更に次の一個大隊新に奉天に入りて以て凱旋を待つ斯の如くにして目下奉天に日々出入しつゝある凱旋隊は實に第七師團也

▲中立地 聞く所に依れば新民府附近に駐屯せし將卒は昨今、奉天、新民府間の輕便鐵道に依り仝じく凱旋しつゝありと云ふ目下仝鐵道に一般公衆の便乘を許可せさるは蓋し之れあるか爲めなるへし

▲潤澤也 物資は昨今一体に潤澤の模樣也就中最も多數なるは菓子とす從て菓子は其價甚だ安く營口に比較するも尚は下位に仕り如斯く物資の一体に潤澤なるは大連よりの着荷頻々として之れあるが爲なりと云ふ尚は目下商況は甚た沈靜の模樣也

▲普通商 今日開店せる普通商店の中に於て主なる店舗を擧ぐれば關東公司(雜貨)米田洋行(雜貨)千賀洋行(雜貨)前田洋行(陶器)等の數軒に過ぎず就中永久的の如く考へらるゝは前田洋行にして次は關東公司也共に相應の繁榮を呈しつゝあり

▲酒保商 奉天に在る酒保商は四軒也今其の内容を細別すれば就中自營酒保一、個人酒保二、官營酒保一也、而して以上四軒の酒保中最も業務の勉强の稱あるは兵站司令部附の酒保主馬太郎と云ふ者の店にして一日の小賣高大抵三百圓を下らすと云ふ

●東西通達會社の業務開始 東西通達會社は日本人、降旗、橋口、清國人東永茂等三四名の連合組織せる者にして東清鉄道の貨物輸送を以て主要の營業となす商會なるが一昨日、午後第六時軍政署、領事館、税關、鐵道、正金、三井、日本人會、實業協會、新聞社等の主なる人々併に東盛和及び山本瀧四郎氏等四十餘名を招請し第三樓に於て開業披露の宴會を開催し席上、降旗元太郎氏先づ來賓一同に對し、叮嚀に挨拶し次て又た東永茂同樣に挨拶し第三樓の紅裙總出にて酒間に斡旋し驩聲笑語湧か如く近來の盛會にて十時過に散會したりと云ふ、因に東西通達會社は昨日既に荷車三臺を出したりと尚は仝會社は近々の中更に同業者を請待して同樣開業披露の祝宴を擧ぐるとなり

●郵便局の執務時間改正 牛莊郵便局に於ては昨一日より執務時間を爲替貯金午前九時より午後五時迄其他は午前九時より午後六時迄と改正せられたりと云ふ

●在留歐米人の現在數 去る二月廿八日の調査に依れば當營口に於て歐米人の在留戸數は總てに於て六十九戸此人員百四十四人内男八十六人女五十八人にして之を國別に掲ぐれば英國人戸數四十二戸 男五十二人女三十六人米國人戸數十一男十一人女十人獨乙人戸數八男十人女二人佛蘭西人戸數二男三人女三人露國人戸數一男一丁抹人女一人那威人戸數二男三人女二人等にして右は各領事館に登錄せる人員にて其他之に洩したる外國人約二十餘名ありと云ふ

●ホージ氏の來營 四五年以前迄營口英國總領事にして今は北京公使館附たる滿洲通を以て有名なるホージ氏は視察の爲め昨日來營し本日新民府に向け出發すと云ふ

●慈善市の殘品販賣 愛國婦人會牛莊委員部に於ては別項廣告欄にある如く曩に開催せし慈善市賣店の殘品悉皆を明三日より三日間日本人會事務所に陳列し元價を以て一般に販賣すと云ふ

東西南北

●統監府説明要求 北京駐劄韓國公使館贊署官朴泰英は同公使館撤退に際し其建物を皇室の財產として處分したるに由り統監府は之に關し宮内府に對し説明を要求せりといふ

●獨帝銀婚と育兒 文明の國にありては母が出產後其子に十分に力を盡さゞるの弊あり獨逸の如きは昨年二百萬人の生兒中其五分の一即ち四十萬五千人は出產第一年に死亡したるの事實あるより去月廿七日の獨帝銀婚式を機會として嬰兒死亡を防ぐ模範育兒院を開けりといふ

●無頼外人の計畫 曩に日韓協約に反對して妨害運動を試みたるハーベートは近々來韓して再び京城に新聞發刊の計畫あるやにて其同臭の韓人等は目下何事か奔走しつゝあり

●五二會再興決定 五二會は大谷嘉兵衛樋田魯一等の諸氏大に盡力する所あり松方伯を總裁に戴き再興せんとの協議一決し十五日より赤坂溜池三會堂に於て事務取扱を開始せり

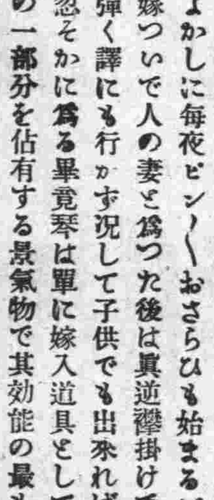
●外國人の渡來數 大藏省の調査に係る昨卅八年中の外人渡來數は一萬六千五百卅人にして卅七年より千八百八十三人を增加せり其重なる渡來港別左の如し

横濱	六、五二二人	神戸	六、七七六人
大阪	七七	長崎	二、一六八
門司	三五一	下關	五九二
其他	八四	合計	一六、五三〇

●戸水博士ノ献本 戸水博士は過去數年間に於て日露開戰論を主張し豫て當路に建白したる等の顛末を編纂して回顧録と題し同志の知人に頒布せしが今回平和克復の紀念として兩陛下東宮殿下同妃殿下に献本を願出でし所御嘉納あらせられしと云ふ

●臺灣の蕃人徵税 臺灣臺東廳下の蕃人は智識近來著しく進歩し民度も年と共に增加し來りたるを以て今回其一部に地方税を課することゝなり來る三十九年度より實行する由なるが其區域はアミ族全部プユマ族全部とスバイワン族中の一部とにて社數百三戸數六千二百十五戸なるがこれとても蕃人に賦課することなれは單に家税のみに止むる筈なりと

●藝妓周易判斷 仲居 第三樓 おふじ 朴拙老



ヤレ〱浮世はいやぢや〱少し暖かになると毎日〱入り替り立ち替り、ドラ猫や三毛猫どもが、やつて來て、ヤレ先生コレ先生と五月蠅く云はれると年の故かもう目が廻るやうぢや、ドレ誰れも來ぬ間にチヨツと一吹くやらかそうかな、オヤ〱誰れか車で來たやうぢや、この不景氣に車なんて生意氣に、ハテ誰れぢやらう……アノ御免下さいヲヤ先生お珍らしう、ハテナどうやら愚老も見たやうぢやが年が寄るとナ目が霞んで、はつきり見えんが一体お前さんは誰れぢやつたな、ハイ妾はアノおふじですよ、アレ先生第三樓のおふじで御座います、ヨー成程あのおふじさんかい久しう見ぬ内にえらう美しうならしやつたのハヤヤヤ時にお前さんも身の上判斷であらうが、サア〱見て進ぜう遠慮なくズーと、こちらの方へ來さつしやい、先生チヨツト先へお斷りを申て置きますが春帆樓のおりんさんのやうに内地の事から朝鮮の事迄丸で歯の間をつまやうぢで、せゝるように詳しく見ないやうに妾が先き〲思ふて居るお方と苦樂を共に出來るか、出來ぬか夫れだけ見て頂けば澤山です、どうか何分お手柔らかにお願申ます、之はしたり別段お手柔らかも、堅いもないものぢや照魔鏡に顯はれて居る以上は致方がないヤアよろし暫らく聞かしやれ

エヽト成程お前さんは幼ない時から大分苦勞さつしやつたな、ハテナお前さんの顏をつく〲見ると氣の毒ながらお前さんは爰一兩日中に飛んでもない身の上に大事件が起るわい、先生大事件とはどういふ事が起ります、左樣言ふて進ぜたいが、こいつは先づ跡廻しにしやう、先生妾は胸がドキ〱致しますから今日は御免を蒙むりますよく考へまして何れ明日改めて御伺致します、病氣なれば仕方がないそれでは是非明日來さつしやい誰れが來ても見ずに待つて居りますぞえ(まだ〱)

●でたらめ草 琴の音は垣根を隔てゝ軒端を漏れ來るその微かな聲を偸み聽きにするのが最も風情がある三味線は之に反して何樣なに夜叉面らで破鐘の如き聲を、してゐる女も側へ引付けて聽かずば興味が極めて蕭索である▲聽いて吃驚見て吃驚といふが琴ほど人を驚かせるものは無い春月朧氣に階前の梅を照して暗香浮動する時起て花下を徘徊し隣りの離れ六疊に彈く床かしき琴の音を偸み聽きする其聲を聽て其人を想へば窈窕たる淑女がどうしても眼の前にブラつかねばならぬ翌日隣りのおデコ孃への挨拶に昨夜は御友達でも入らしやつたと見えて大層琴がなど言つて、いえ私が……なんて返事に魂消て開いた口の塞がらぬ事は屢々ある例である總じて琴と佳人とは相遇ふ場合が極めて少ないのである▲今の中等教育を受ける位の女は大抵琴の稽古をやつて居るが琴程女に役に立たぬ物は無い嫁入前迄は『此家に娘入女御座候』と外へ聞えよかしに每夜ピン〱おさらひも始まるが既に嫁ついで人の妻と爲つた後は眞逆襷掛けで琴を彈く譯にも行かず況して子供でも出來れば益々忽そかに爲る畢竟琴は單に嫁入道具として長持の一部分を佔有する景氣物で其効能の最も能く發揮せらるゝ場合は娘を賣り付ける言ひ草に利用する時である。へー琴も大分お稽古を致させまして何んかテ(△△坊)

汽車開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上 六、〇〇	上 九、五七
營口至山海關	上 八、二〇	下 六、〇〇
山海關至唐山	上 二、一八	下 六、二〇
山海關至天津	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上 八、〇〇	下 六、二〇
北京至天津	上 一一、二〇	下 五、四一
北京至營口	下 二、四〇	下 八、三〇

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間 下り列車

驛名	發着時刻
大連 發午前	九、〇〇
金州 着	一〇、九[illegible]

驛名	發着時刻	
遼陽 着午後	三、五〇	發 四、五五
大石橋 着	一〇、三二	發 一一、三五
金州 着翌前	二、二〇	發 三、一〇
大連 着	五、[illegible]	

上り列車

驛名	發着時刻
旅順 發午後	二、〇三
大連 着	五、三一

營口線 下り列車

天氣 營口地方 自昨日午後六時 至本日午後六時

小說

新作小說　おとし胤

徳田秋聲

（二）

丁度かの不思議な人力車が、村の一筋道に現はれた時であつた。

此の村の共同墓地に向つて、細い徑を辿つて行く女があつた、女と謂つても娘である。年の頃、十六か七か。眉毛の濃いのと眼のパツチリ爲過ぎたのが目に立つけれども、色白で、丸顔で、優れた容貌である。まだ浮世の波に揉まれぬ證據は、何んとなく凛とした、何んとなく品のある顔の何處にも一點の邪氣が無い、一點の愁ひが無い。譬はゞ溪流の岸に咲いてゐる眞ツ白な百合の花………觸はらば冷露の滴ぼれん姿。リボンの飾は無いが、頭髪は、はらり肩から背へ流れて、漆黒の光は鮮に夕日に輝いてゐた。

片手には、爛熳たる白桃の幾枝。それすら姿に幾段の氣品を添ゑて、さながらに此の靜寂な山村の靈が假に此の少女となつて彷徨するかとばかり。

少女は、遙に車輪の響を聞いて、ふと其の方へ振向いたが、「おや。」と呟きさま、パツタリ足を停めて了つた。そして珍らしそうに人力車の影を眺めてゐて「またお醫者樣が來たのかしら………何家に病人があるんだらう。」

と忌はしげに眉を顰めた。

やがて少女は、雜木林に囲はれて墓地の地域に入つた。途端に彼方の木蔭に、がさ〳〵と怪しい物音。風の音ではなくて、犬ならば餘程大きな犬が逃げたのだ。

少女は、ひやりツとした躰。また立停つて、大きな眼を見張つて、音のした方を見詰めて、熟ツと耳をそばだてた。されども其の音は又た聞ゑなかつた。

「何んだツたらう。」

と訝しさうに瞬たきして、少時逡巡してゐたが、

「いゝゑ、いゝゑ。」と頭を振つて、「何んにも怖いことは無いわ。お祖父樣は、自分の心さへ正しかツたら、世の中に何んにも怖い物が無いと有仰ツたわ。それに此處には母樣が在ツしやるから、きツと私のことを護つてゐて下さるわ。」

此う考へると、少女の心は不思議に嚴かになる。少女の此の信仰は固い！それで直に何も疑はず、何も怖れぬやうになつて了つた。其の眼は、明に活き〳〵として來た。

そこで少女は、徐々墓地の奥へ進むだ。そして櫻の樹の下に、寂然と冷ゑきツてゐる墓の前にかゞむだ。夕風に搖られて、櫻の花が散つて來て、少女の頰を撲つた。

此處でまた少女は、不思議の眉を顰めた。

「おや、またお花が捧げてあるわ、まア、此樣なにどツさり………」と思はず聲を立てゝ、そして考へた。「誰でせう、誰方が何時でもお花を捧げて下さるのでせう。解らない、何うしても解らない。此の近邊に親類と謂つても無い人ですから、誰も阿母さんにお花を捧げて下さるやうな方が無いんだけれど………」

と少女は何時ものやうに不思議な思。

此の少女の母御の御墓に、主の知れぬ花の手向けられてゐるのは、蓋し今日に限つたことで無い。此の十日餘り殆ど毎日のやうに主の知れぬ花が手向けてある。

「そもこれは、何人の仕業であらう」と

奈何に考へても少女は更に合點が行かぬのである。

少女は、此の墓の下に懐慕しい母御の御靈の安かに眠り玉ふと知つて以來、日毎此處に墓參を怠らぬのである。墓參では無い、寧ろ世に在ます母の此處に別居して居られるやうに思つて、朝な夕なに此處に訪づれるのであつた。

けれども少女は、母御の顔すら覺ゑて居らぬ。其の筈さ、母御は少女が三歳の年に亡くなつて了つて、父御は有るのか無いのか其も知らぬ。されば彼女は世に賴りなき孤兒であつた。されば母懐慕かしと思ふ心は、日毎此處に來て、或は心の淋しさを訴へ、或は親なき身の薄命を喞ち、或はまた悦あれば悦を語り、過失あれば過失を懺悔して、冷たき墓に温い母の情の籠れるやうに思つてゐるのであつた。また母の御靈に温い情あつて、活ける母御の其の如に彼女を護つてゐるものと信じてゐるのであつた。さればこそ、彼女は十三四の頃、母御の御靈の此處に在ますと知つてから、雨の日にも風の日にも冷たき墓に訪れぬ日とても無いのである。

少女は、何時ものやうに持つて來た花を捧げて、それから合掌して眼を瞑つて、何時ものやうに心の中でお話をして、いざ家路に向はんものと、ひよいと頭を擡げると、此の林の中は、もう薄暗くなつてゐた。

「おや、もう暗くなつた。」

と呟きながら、立起ると、其の拍子に、

「光さん、確か貴女は猿島の光さんと有仰る方でせう。」

と聲を掛けたものがある。少女は、吃驚して、「え」と叫びざま振向くと、自分の直ぐ傍に、見上げるやうな巨漢が、のツそりと突ツ立つてゐた。

米國大統領令嬢の結婚

其の艶麗と怜悧とを以て華盛頓交際社會の花たり又た米國の愛嬌を代表して我國に來り滿都士女の狂喜せる歡迎を受けたるアリスルースヴルト孃は去十七日を以て愛度花嫁となれり此孃と結婚する者の何人なるべきやは米國青年の空想を支配したる甘問題なりき然かも彼等が此の問題に騷きつゝある間にアリス孃は秘かに之れを解決し而して堅く此の秘密を守れりされど孃が東洋旅行に出立せんとする前此の秘密は漏れて世間は孃の情が既に若き政治家の虜となれるを知れり

孃が其の將來の良人と相携へて東洋に遊び旅行中如何に其の相愛の熱度を高めて歸國したるかは當時米國新聞の艶筆が事實と想像とを取交せたる報道により世間に知らしめたる所なり孃と其の將來良人が樂しき旅行より歸るや間もなくルーズヴエルト夫人は米國の社會に向つてアリス孃約婚の事を宣言したり此の宣言が電報にて『タイムス』其他歐洲の大新聞に傳へられ大に社交界の注意を惹きたる事は蓋し世人の記憶する所なるべし此の如く世界に評判高き孃と結婚する幸福を得米國青年の艶羨を一身に集めたる新郎は讀者の既に知るが如く共和黨の少壯政治家ロングウオース氏其人なり

ニコラス、ロングウオース氏は米國オハヨー州に於ける勢望ある富豪の息子にして一八六九年を以てシンシンナチー市に生れ普通教育をハーヴアードのカレツヂに於て受け一八九三年ハーヴアード大學の法科を卒業し翌年又たシンシンナチー大學の法科を卒業して辯護士となれり一八九九年より一九〇一年までオハヨー州々會代議院の議員たり一九〇一年より三年までオハヨー州々會の元老院議員たり而して一九〇三年には合衆國の議會に入り今日にては少壯代議員中最も勢力ある人物の一人なり氏は大統領ルーズヴエルト氏の信任を受くる事厚く一九〇〇年以來オハヨー州共和黨の委員となりて大に政界に活動し一昨年の大統領選擧の時の如きは氏はルーズヴルト氏の爲に奔走最も力めたる共和黨政治家の一人なりしと云ふ聰明なるアリス孃が此人を選擇したるは寔に偶然にあらざるが如し

世界叢話

▲十萬圓の料理長　近著倫敦支那エキスプレスに依ればヒルツレルなる人は今度露國皇室の佛蘭西式料理部に入りたるが之を紹介したるものは夫の有名なる露國皇室料理長ユージーン、クラツツ氏にして氏は露國に於ては極めて重要なる位置を占め皇室の料理部は悉く其監督の下にあり二箇月毎に其各部を巡視し陸軍將官の官位を有し苟くも皇室料理部にあるものは皆氏の命令に從ふ氏の年俸は十萬圓にして米國大統領の給料も之に及ばすとあり

▲百六歳の選擧人　英國最老の選擧人ジオン、マツクフアーリン氏は一千八百年十一月十八日生れ本年百六歳なるが自由主義者にして英國現内閣に頗る同情を寄せ居り首相バンナマン氏に面會して英國の選擧が一世紀間に如何に行はれたるかを詳細に陳述し過般の選擧には自ら從歩し選擧場に至りて投票を行ひたりし程强健なるがバンナマン氏は此程同氏に銀製の皿一ダースを寄附したりと

▲世界最高の公園　此程開通せるアルプスのシムロン隧道出來前佛伊兩國連絡の山路たりしベルナルド峠の頂上附近にマルゲリタ女皇公園といふがあり始めは其處の小屋に住みしアベ、コノーといふ人の慰みに造れる小庭なりしが熱心の登山者なる女皇は此小庭に非常の興味を有され庭を取り廣げ世界の各地より有ゆる寒帶植物を取り寄せ多くは親く御手植になりたるもの此公園なりといふ園の高さ海拔六千尺

▲蓄音機の利用　米國市俄古に住する匈牙利猶太人の檀家が牧師を失ひて新牧師を求めんとするに當り聖彼得堡の猶太教牧師に候補者を紹介せんことを求めたりしかやがて適當の候補者發見せられたれば紹介者は候補者に向て米國に赴き説教して檀家の意に投ずるや否を試むへしと云ひしに候補者は遙々米國に渡りて説教し若し檀家の氣に投せずして失敗するに於ては面目を失せんことを恐れ躊躇せしか不圖蓄音機のことを思ひ出し之を利用するに決し蓄音機の前にて匈牙利語と獨逸語にて二つの説教を試み同機を市俄古に輸送して猶太人の前に之を復演せしめたるに大に猶太人の氣に投し直に頗る有利の條件にて牧師に選擧せられたりと云ふ

廣告

東北凶作地窮民捐者芳名義

一金二十圓　營口　日盛貿易商會

計二十圓

累計三千四十六圓九十五錢

慈善賣店殘品を以て販賣す

曩に當委員部に於て開催せし慈善賣店殘品を來る三日より三日間牛莊日本人會事務所に陳列し元價を以て販賣す

但し販賣時間は午前十時より午后五時迄とす

右廣告す

愛國婦人會牛莊委員部

啓

啓者本會前在日本運來各種精製品物已於上月二十日在監督署前發賣以其餘利送交本國發給軍人但是台猶有未售完此茲定於西曆本月初三日在日本人會內發賣餘品俱按照原價格外公道且貨物十分優美爲有賜顧者請速臨勿悞

愛國婦人會啓

競爭入札廣告

第一號　一　生牛皮　約二千枚
第二號　一　生羊皮　約四百五十枚
第三號　一　生豚皮　約四百二十枚
第四號　一　癈品烏拉靴　約一萬足

以上入札保證金各見積代金百分の五以上

右賣却す買受望みの者は二月二十五日より三月十一日迄に當支庫に出頭入札心得書契約書案及現品一覽の上三月十二日午前十一時迄に入札書を當支庫に差出すべし即時開札す

此契約は滿洲軍倉庫奉天支倉庫長橘元勝造擔任す

明治三十九年二月二十五日

滿洲軍倉庫奉天支庫

拍賣告白

告白奉天滿洲軍支倉庫官署准於（日曆三月十二日中曆二月十八日）拍賣左開牛羊猪等皮貨有願買者自日曆二月二十五日（中曆二月初三日）起至日曆三月十一日（中曆二月十七日）止請到該署詳看貨物及呈單條規契約樣式等書限於日曆三月十二日午前十一時（中曆二月十八日上午十點鐘）呈單即時拆封定局　呈單者必要將遞價百分之五定銀先交作押　如無成局仍將原定繳還立契官滿洲軍倉庫奉天支庫長橘元勝造

計開

第一號　生牛皮　約二千張
第二號　生羊皮　約四百五十張
第三號　生猪皮　約四百二十張
第四號　烏拉靴　約一萬雙

明治三十九年二月二十五日

光緒三十二年二月初三日

競賣廣告

第一號　二輪荷馬車　千三百輛
第二號　二輪荷馬車輓具　五百副
第三號　一人挽徒步車　三千輛

右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き（自午前十時至午後四時）閲覽品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上來る三月二十日（自午前十時至正午）入札書差出すべし但即時開札す

此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎擔任す

明治三十九年二月二十日

奉天停車場南方約八百米突に在る（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠奉天出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠奉天出張所茲於日曆本年二月二十日在奉天倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎

計開

第一號　双輪搬貨馬車　千三百輛
第二號　双輪搬貨馬車用車套　五百副
第三號　人力單拉車　三千輛

承買者均須將各自估價一百分之五先交作押

明治三十九年二月二十日

在奉天停車場東南方淸里一里半（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠奉天出張所

彌生

營口　本店　彌生　電話四一番

鐵嶺　支店　彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主　宮下只七郎

一位置　西門より西の方五六軒北側に候

一構造　室内裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし

一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

高等旅館　彌生館

營口永世街

館主　宮下只七郎

（電四二）

旅館　東京樓

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

店主　熊田兼次郎

（電話百七十八番）

即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需應にす

消火器

右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候

英治洋行

會席料理　三日月

營口警務署前南に入る

奉天日本旅館　瀋陽館

家屋宏壯清潔

接待優遇懇切

開放全時一圓乘

奉天小西門外大街路北

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137　電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何本多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雜貨卸商
在元神廟營口街
關東公司雜貨部

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦
廉價販賣
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

菓子用藥品新荷着
醫藥賣藥醫療器械
重曹
硼砂
炭酸安母
ヲーラミン其他
東瀛大藥房
營口永世街

澤龜之醇良にして風味豊富なる
並ニ
札幌ビール
朝日ビール
政府專賣口付紙卷煙草　朝日　大和
酢　醬油　瓶詰樽詰
菓子色々　罐詰
洋酒類　取次販賣

釀造發賣元
宅合名會社
本店　大阪府堺市九間町
小樽支店　北海道小樽湊町
臺北支店　臺灣臺北街書院
基隆支店　臺灣基隆街石牌
臺南支店　臺灣臺南街下南河
函館出張店　北海道函館區辨天町
遼陽出張店　清國遼陽城内西街
大連出張店　清國大連監部
營口支店　清國牛莊港東營口

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街　ブツシ商會東
喜川鐵工場

旅館讓渡
新築　客室十五間
雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業共讓渡し度御企望者は御來談を請ふ
奉天小西邊門外拾間房
浮世館

婦科專治
靈藥

中將湯
奏功如神仙
名聲掩四海
大日本東京津村順天堂大藥房處修
此藥專治婦科諸症如經血子宮虛冷、白帶赤帶胎前產後諸症、惡阻、呑酸、吐水諸症、經難產、流產或漏洩不安諸症、經水不調、經期不順、或在經前經後疼痛諸症、經逆、經衰發熱、火氣、手足腹痛、頭暈目眩諸症、復治男女感冒風寒及疝瘕等症、誠救苦之妙藥濟世之至寶也
子宮病、血の道等婦人病一切の妙藥なり
總批發處大清國營口永世街(二本町)
藥司洋行
藥劑士　淺野大藥房
其他各國有名靈藥發售處醫藥及醫療器械

雜貨　醬油　木炭
すし米
清酒　大樽　半樽
營口西北街
阪神組

滿洲大阪賣所
營口(驛松林邸内)　池上出張店
遼陽停車場前　池上出張店
奉天　池上出張店

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口永世街
營口印字局

建築請負廣告
弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專ら營業に就て各地へ各事業家之建築多大なるを推測し擴張し本年より一層の事業と叮嚀を主とし位置に應じ正實なる法等は多額を要せず勉強可仕尚構造法を研究し在來の建築を通知し候間堅固な建築法に御希望御方は申込次第建築御設計の程偏に奉願候
營口永世街二百五十八號
本町
工棟組

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
其外新荷着精々安價販賣
營口永世街七十號(第二市場東)
石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
白米
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
卸商
防寒具、安價販賣
營口西北街
豊生洋行
(電話十三番)

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●活動大寫眞
●日俄戰況幷ニ餘興元祿踊等種々

◎フレノロジー
頭腦を觀察して身の上はんだんをなす
營口豐濟門街廿三號李俊氏宅の西隣町
利生堂

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理
(電話□十一番)

北京
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

時刻

山海關至天津 上六、一二 上一、二八
塘沽至北京 上六、〇〇 下一二、〇六
天津至北京 上一二、〇〇 下五、二〇
山海關至北京 上八、 下六、四五

天津至山海關 上六、二五 下六、二一
唐山至山海關 上六、〇〇 上一一、五八
山海關至營口 上七、〇五 下四、五五
溝邦子至新民 上三、〇〇 下六、五七

奉天着午後 一二、〇六
上り列車
奉天發午前 一一、〇〇

驛名 發着時刻
大連發午前 七、三〇
瀋陽着 一〇、四九

營口發午後 上り列車 十、二五
大石橋着翌前 一二、二〇

豫報

昨日氣温

昨日の氣温 最高温度卅四度七 低一度六
最低温度廿四度八 高低十六度九
昨年との比

宮門抄

初三日

吏部 翰林院 正黃旗值日無引 見 慶王謝議敍 恩 慶祺
假滿請 安 李俊請假五日
召見軍機 李士鈐
內閣遞封奏一件

初四日

戶部 宗人府 正白旗值日吏部引 見 六十九名 王中堂孫中
堂謝加級 恩 敬中堂因伊子授缺謝 恩 鹿傳霖等謝加級
恩 墨麒謝授內閣學士 恩 浙江知府姚舒密謝 恩 錫光
假滿請 安 順天府奏京師得雪一寸有餘 掌儀司奏初七日祭
奉先殿倫貝子行禮
召見軍機 姚舒密
財政處遞封奏三件

上諭恭錄

初三日奉

上諭吳引孫奏考查屬員分別舉劾一摺新疆伊犂府知府彭緒瞻署蒲犂通判候補知縣張紹伯巴楚州知州張璟光皮山縣知縣錢炳煥前署柯坪縣縣丞准補疏勒府經歷王廷襄均着傳旨加奬莎車府知府聯恩苛征取巧民怨沸騰署葉城縣知縣候補知縣王禮源貪黷虐民專擅圖利署鄯善縣知縣候補知縣苗茂任用私人苛派累民署婼羌縣知縣候補知縣夏朝選行爲貪劣操切債事候補知縣劉襄擅作威福居心貪詐署吐魯番巡檢候補縣丞趙謙任性妄爲行同無賴于闐縣典史徐丙炎違禁收費貪鄙性成候補巡檢周鴻年廢弛電務利心太重候補典史韓興奇行同市儈肆意貪婪均着即行革職署阿克蘇道候補道陳純治精力就衰事權旁落着以原品休致前署阜康縣知縣候補知縣朱希知舉動多乖輿論未洽候補知縣馮鎮寰人欠鎮飭被控有因候補縣丞劉華濬不自檢束頗滋物議綏定縣廣仁城巡檢王晉昌年力衰頹難期振作均着勒令休致候補知府劉澄清性情執拗難資表率著以通判降選署吐魯番右旗營守備補用遊擊趙正清操防懈弛攤派擾民署阿克蘇城守營守備補用遊擊党維新行爲荒謬心地糊塗均着即行革職署哈密協右旗守備補用副將曾春祥身力衰弱難期振作着勒令休致提標中營參將張鴻疇營伍疏懈人地不宜着開缺另補餘着照所議辦理該部知道欽此

旨墨麒達壽均着補授內閣學士兼禮部侍郎銜欽此

初四日奉

上諭山東登州府知府員缺着張學華補授欽此

上諭山東沂州府知府員缺着李于鍇補授欽此

論說

論中國排外之氣勢

異矣哉。排外之說之適從何來也。處今之時。度今之勢。不必有排外之舉也。以我之權。以我之力。不能成排外之事也。我民人未盡知之。我政府當無不知之者。我鄉僻之民人。或未知之。我開通之民人。未有不知之者。乃各國人心動搖。議論百出。一犬吠影。百犬吠聲。羣以爲庚子拳匪之變。將復見於今日。昨接倫敦電報云。美國下議院長布爾氏。在議會云。清國排外之氣勢。未歸鎮靜。則美國陸海軍。不得一日怠其準備。且以從前羅富古喜魯氏。對中國事變不取償款之言。爲大謬乃主持以該償金爲製造軍艦之用又其國簡陸軍卿他夫多氏。爲預備緩急。率軍隊前赴菲律賓島。而我國人固猶昏昏如在醉夢中。而未之覺也。日本我東鄰之友邦。恐禍生不測。電致內田公使。俾忠告我政府。轉飭各省督撫從速平定。以息浮言。我政府之感激當何如我國民之感激。又當何如也。雖然。天下一言一事之起。未有無因而至者。今排外風潮。喧傳海外。不但中國未知其事即外人之在留中國者。恐亦未肯深信。然其說已流播於一時。幾有不可遏抑之勢。再四尋思。其原因或即在連州教案乎。抵制美貨乎。上海罷市乎。漳浦教案乎。夫民教之不相下。其事不自今日始。而中政府曲意彌縫。亦非一一次。況庚子殷鑒。言者痛心。顧敢推波助瀾。長我民以暴動之行。而予列國人以口實乎。至於禁制美貨。實慮華工之所致。雖萬衆一心。尙不失爲平和之運動。且刻下禁已漸弛。中美邦交如舊也。上海公堂一案。其屈不盡在我。中國縱無治外法權。而華官自理華民詞訟之權尙在。乃幷此而亦干預。執持已見相與爲難。是直視爲割讓之埠。而幷忘其爲租借地。及至無知小民。相率罷市。我政府遂派員彈壓。不遺餘力。惟恐其事之稍涉激烈焉。如各國以此爲排外之證據。毋亦苛於責人。而寬於責己乎。他若各省路工。爭回自辦。各省礦務。集股自開。乃近來民智稍開。人心思奮。自知處此工商業競爭最劇最烈之大舞台。非畧收回利權。勢不能生存於天演界中。以自保其殖田園貽子孫計耳。質而言之。依然我國人所貫澈於一切行爲中之保守主義。而實非進取主義。何也。其所經營而擘畫之者。不過在此四千二百七十八萬方里之中國區限內。而非能馳域外之觀。成緯地經天之一大事業也。在列國之與中國相友善。相親密者方將提倡之。奬勵之。保中國之大局。以保東亞之大局。以保全世界之大局。而何至懷挾私心。爲含混影射之談。以擾亂人听聞哉。總之。各國政治家於內治用王道。於外交多用霸功。閉關以前。中國排外之事。洵有之矣。各國對中國交涉。不用王道而用霸功。宜也。至近日變法伊始。自朝廷以至百官。自百官以至萬民。皆日醉歐風。於一切新政治新學術新理想。靡不極意揣摩。惟慮不肖。是以全國奉識稍易。而程度亦日增。各國不察。依然以閉關以前之中國視之。以閉關以前之中國民待之。無惑乎偶有舉動。遂疑忌叢生。以致鶴唳風聲。故作恐惶之狀也。此則對各國人。可共表中國排外之說之盡屬傳聞。而決不至有此事也。願各國國民共諒之。(未完)

中外要聞

●俄人侵佔鑛產 日昨黑龍江程將軍電致外部略云該省俄人以演操爲名私佔漢河觀音山兩處金鑛彼處士民眈眈虎視將恐釀成交涉特請大部與俄使磋商轉電該營員阻其侵佔滋擾等語

●俄人阻力 俄館消息俄公使現訪求庫倫開放章程倘其條欵與俄不宜即與外部作難決不令中國獨力開放云云

●改簡駐俄使臣之消息 外部因駐俄欽使胡大臣已逾年限現將候補道劉君士熙入單點放駐俄欽使之差日前加會俄公使轉電俄廷但俄使尙未照覆外部不知俄政府認與否

●調查營册 聞練兵處王大臣咨行步軍統領衙門轉飭綠步各營將將佐兵丁花名缺額口粮册調查呈送練兵處以備查核餉項數目云云

●直督通飭招選女學生 爲通飭事照得教育之道先家庭而後學校女學不興則一切教育皆無基礎欲開女學苦於師範無人天津建設高等女學堂特立師範一科應選者寡自因風氣初開人多觀望夫大家名媛漆室眞姬能通文義工書算者所在多有無論士著客籍已嫁未嫁年在四十歲以下文理通順者應由各屬訪明詳送酌量道里遠近墊給川貲由學務處發還考選入堂者每名每月給津貼銀圓十元並供給火食以示優待畢業後派充女堂教員限二月底報名投考庶幾姆教育有方母儀足式實於振興女學大有裨益合行通飭札到即便遵照辦理

●奉省分設戶部銀行 戶部奏設銀行於北京將來設分行於各省及各埠現在奉天趙將軍函請設一分行於奉天省城以便交通銀項聞戶部已經允准大約月內即可開辦

●派員赴日調查幣制 戶部設立銀行本爲整頓一切財政幣制一項尤關緊要聞數日前已奏請派員前往日本調查銀行造幣等事以便歸國後採擇施行

雜報

●馬怯山君 昨聞一縣行人云其友趙某胆畧最壯常自夜行月前下旬由邊外夾皮溝赴朝陽郡經磨盤山地方山路狹隘僅容行人山南距村遠而趙匹馬至山北時尙夕陽即投旅店夜未揭曉乃起束裝超乘而南山行六七里蹈乘月色見石林欹側古木杈枒而馬輒豎鬣却蹄怪嘶不進趙覺毛髮森悚奮出手槍三鳴復極力揰策馬仍不進致趙忡怒更出匕首猛戳馬臀詎馬廻勒疾奔直回舊店則汗毛涇若水潑店主駭詢其故趙悉以告店主等日近夜常聞虎嘯蓋該馬見虎不肯前進陷主云

●夜博焚斃 昨由北來人云通江口賭禁甚嚴有一梨窖商舖前數日夜間四人潛於窖內爲葉子戲窖口蔽封不透烟縷至夜深燃煤油灯皆被煙薰迷多頃外人見窖項烟沸急爲剖窖撲救而四人已盡燋灼矣

●常備軍至西城 昨聞河北人云趙軍帥以奉省兵隊彈壓鬍匪不敷需用特文咨請直省常備軍來奉相輔前已發至榆關馬隊四十餘昨聞前部業到西城駐紮不日將開往東北云

叢談

●炒嘴 粵言口角相爭曰炒嘴有某甲平生最好食炒猪嘴屆一膳夫屢着其炒猪嘴供膳幾於每膳不忘自去歲十二月十八起以至於今膳夫不復以之助飯甲詰其故膳夫曰黎紳被逮亦因在廣濟醫院與官塲炒嘴若再炒嘴王人不怕被逮我也怕被逮

●梗頸 某官平日最好魚肉平民而又最好食魚肉一日宴有滑稽生在座某不良於視誤以魚骨爲魚肉滑稽生眼見之而不以告迨旣入喉不上不下苦惱萬分滑稽生曰茹之某搖手曰吐之某亦搖手滑稽從容笑語曰汝平日最好是魚肉見有魚肉便順喉吞下豈知魚肉中亦有骨耶今梗在喉怎下得去我有一言敬告而今而後須防有刺可也

NEWCHWANG, FRIDAY, MARCH 2, 1906.

THE RUSSO-CHINESE CONFERENCE, (PART I.)

The progress of the Russo-Chinese Conference at Peking has remained an impenetrable mystery to the curious outsider. All attemps, and there must have been many more shrewd than clever, at piercing the secrecy appear to have been so far baffled. At all events, the journalistic silence on the important diplomatic tournament has been singularly eloquent of how effectively every pore of leakage has been stopped. The present negotiations in their very nature are not in any sense of vital consequence to Russia. To put it plain, the whole business is to her nothing more than a question of illicit profit. Let the worst come to her in this deal, which seems most improbable from her antecedents, Russia could never be strictly speaking the loser. For, all that is demanded of her is, according to our esteemed Tientsin contemporary the "Peking and Tientsin Times" in its issue on Feb. 8th. last, the confirmation of what she has agreed to do with Japan at New Portmouth and the restoration to China of what she has robbed by force or, in some cases, by bribing the local officials who have signed away concessions without authority. The surrender to the right owner of the booties of her robbery would be but an act of simple justice and nothing more. This has been altogether too long delayed already. China stands to-day in a position to go many a step further and claim a full compensation for the losses sustained by her on this account.

Such was the relative status in a nutshell of the two concerned Parties before the Conference opened. That China's proposals have been by far too modest may be seen from the following reproduction of them, granting that our Tientsin contemporary referred to above has been correctly informed.

"I.—All articles concerning 'China mentioned in the Peace Treaty must be discussed and a special treaty drawn up between China and Russia.

II.—The withdrawal of troops from Manchuria, as the Japanese withdrawal is based on that of Russia and a date must be fixed with China.

III.—The Russian troops at Harbin must be withdrawn and at no future time must they be stationed there.

IV.—The boundaries of Kiakta must be defined and Russia's right to station troops there strictly defined.

V.—The 100 mou of land in the vicinity of the Russian railway from Siberia to Hei-lung-kiang, must be restored and no troops or others stationed there in future.

VI.—The gold mines at Ne-ho and Kuan-yin-shan which have been occupied by the Russians, also at Tu-lu-ho and Fa-tila-ho which have been worked by the Russians, and the mines at Hu-lan, Sui-hua to the north of Hei-lung-kiang must also be handed back to China and the troops withdrawn.

VII.—The Russian rouble notes being valueless beyond Kiakta should not be circulated in Ili and other places.

VIII.—All the places which are to be opened to trade in Manchuria will be equally open to Russia and China will recognize the Russian Consuls appointed there and give due protection."

I., as the natural sequence of the Peace Treaty, proposes for the re-adjustment of the relative standing between Russia and China, as is a bounden duty to the one and a just claim to the other. It constitutes China's main aim in entering into the present discussion.

Another neat jump of 3/4 sen, with bar silver at 30 13/16. What is to become of poor yellow gold, if this despised white upstart should keep on rising at such a pace? Can it be a portent of the White Peril?

EXCHANGE QUOTATIONS.—(Mar. 1, 1906).

JAPAN	Bank T.T. 101 1/4		LONDON	Bank T.T.	2/- 1/2
	" Dem'd 101 1/2			" De'd	2/- 9/16
	P'ate 15 d/s. 102			Cr. 4 m/s.	2/1 1/8
SHANGHAI	Bank T.T. 70 3/4		AMERICA	Bank T.T.	49 7/8
	" Dem'd 71			" Dem'd	50 1/8
	P'ate 15 d/s. 72			Cr. 4 m/s.	51 1/2
TIENTSIN	Bank T.T. 102 1/2		Bar silver	- - -	30 13/16
	" Dem'd 102 1/4				
	P'ate 10 d/s. 101 1/4				

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷　初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上　源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三程

料理　沖の島　永世街百六十五號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田　正好

旅館料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主　片山小みつ（電話一四五番）

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田　久二

旅館　大和館　永世街十一號　店主　前田九一郎

料理　満洲樓　南永世街第十號　店主　直塚　勝一

料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主　田島　彌助

料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主　和田　常松

東京　生蕎麥　一式　東庵　元神廟（電話百五十九）

旅館料理　金城ホテル　永世街百六十六號　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　齋藤富次郎

料理旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主　澁田　留吉

料理　喜樂亭　營口元神廟街

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館　東雲　主任　谷口今朝太郎

さるそば　第一更科　さるそば　第二更科　營口元神廟街　永世街鶴の湯角

御料理　柳亭

叮嚀專一　豊濟門街二三　店主　玉岡　叁人

御料理　一力　營口永世街　店主　堀　万助

並ニ温泉

和洋料理　本店　松月亭　營口元神廟街一四三号

和洋料理　支店　満洲ホテル　遼陽西街西門一一七号

御旅館

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　營口ホテル支店　主任　井上　源吉

御料理會席　菊水館　主任　朝枝　園揔

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬　宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川　秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村　常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席　玉家　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田　清

撫順炭大販賣　多少に不拘御用命被仰付度願上候　金城館販賣部

特別室落成　營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居　新來　金城館料理部

奉天小西門外　會席御料理　高等御旅館　金城館

旅館　富喜樓
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余　南大街　樓主敬白

御旅館　豊陽館　上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱　歐米滊船乘船取扱　館主　米田藤吉

歐米各國最新流行形　西海洋服店　永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

料理　満月　平の町（電[illegible]）
満月支店　平の町（元都橋跡）　店主　青木[illegible]

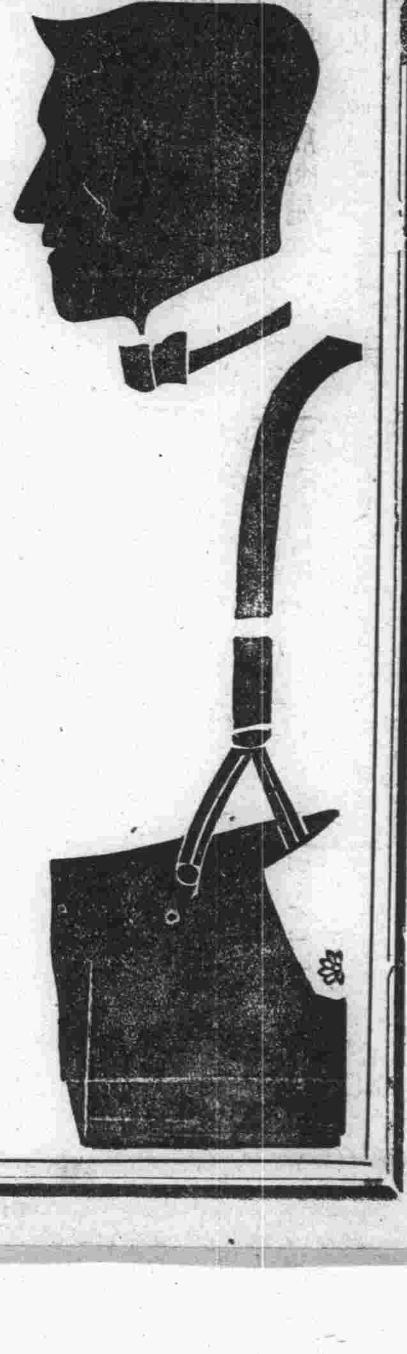
森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄　遊郷の入院を諾す（取扱主任産婆大道しげ子）
院主　森　孺　醫長　鈴木　昌平
營口永世街（電話一五五番）

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話十九番）
各位樣

東營口郵便局東隣　●島田洋服店●
新民屯停車場前　●同　支店●

御料理旅館　勉强館　奉天小西關外北長發園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を揭げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形東京市松、はこせこ、鏡入、
貫入、蒔繪貫入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髪道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口　加藤洋行（電話八十番）

發賣　料木　標子　木板　塩川商會
清國營口二本町二五五號　主任　鹽川峰吉
遼陽小西門內　鹽川商會（電話一三六番）

外に　電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也
●建築

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓
○上等日本米　一石に付　銀二十圓
○板材木　○木炭
○亜鉛板　○洋釘
○干鹽魚　○石灰
喜久洋行　永世街八十號（電話百五十二番）
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

大連　東洋ホテル　大連鐵道傳場附近民政署前兒玉町

發賣　標子　木板　料木　營口青堆子　清水窯本局

日本品最近物價表　石原商店

一箱ボイル	三十入	銀八圓
一箱フキ同	同	同五圓五十錢
一箱福神漬	四打入	同三圓
一美濃紙	一同	同六圓八十錢
一大手帳	一打	同一圓
一スコッチ靴足袋	一打	同四圓五十錢
一洗濯石鹸	二十[illegible]	同三圓
一毛シャツ上下	打	銀二十五圓より六十圓迄
一白メリヤス上下	打	同八圓より十三圓迄
一首輪	打	同一圓

爲替相場（二月廿九日）
日本向　一百圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向　七十一兩（同）
天津向　一百〇二圓二十五錢（百弗に付）

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 80 cts. per month. [illegible] cts. a copy

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ヶ月前金　銀八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　銀九弗六十仙